



## てんかんセンター巡り 第22回



# 国立病院機構長崎医療センターてんかんセンター

### 施設概要

住所 長崎県大村市久原2丁目1001-1  
電話 0957-52-3121

日本てんかん学会  
専門医 3名(脳神経外科2名、小児科1名:2017年4月より1名増える見込み)

病床数 643床、脳波ビデオモニタリング 4ユニット

### 施設の特徴

当センターは1942年、海軍佐世保病院大村病舎として創設され、1945年より国立大村病院として発足し、国立長崎中央病院、長崎医療センターと名称を変更し、今日に至っています。当センターは長崎県のほぼ中央に位置する地域の基幹病院であり、離島を多く抱える地域性から救急患者を自衛隊ヘリやドクターヘリで搬送し、救急医療を担ってき

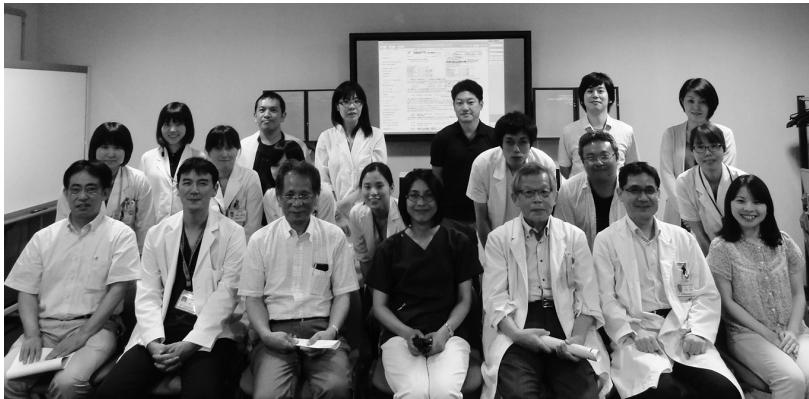
ました。また、1990年代より、てんかん外科治療に携わり、2014年にてんかんセンターを設立しました。

### てんかんセンターの特徴と取り組み

当センターの特徴は、小児の患者さんが多い点です。2002年より、小児の難治てんかんに対する外科治療を本格的に開始しました。主に脳梁離断等の緩和治療を主体とし



**JEPICA**  
Japan Epilepsy Center Association  
全国てんかんセンター協議会



症例検討会に集まった多職種のスタッフたち

す。手術後の患者さんの看護のみならず、心理療法士による発達・心理検査、カウンセリング、リハビリテーションなど、当センターを中心

てきましたが、脳梁離断後に発作症状や脳波所見が劇的に変化する患者さんがいることが明らかとなってきました。その所見に基づいて、二度目の手術でてんかん焦点切除や離断術を追加することが可能となり、難治てんかんに対する外科治療の選択が増えています。

そのほか側頭葉海馬切除や新皮質てんかんの焦点切除、大脳半球離断や迷走神経刺激療法も実施しており、乳児から成人まで幅広い年齢層の患者さんに対応した治療が可能な施設です。頭部MRIやPET-CT、脳波ビデオモニタリング検査をしっかりと行い、てんかん診断を確実につけて手術の方法を検討しています。

また、てんかん診療は医師のみならず、多くの医療者のチームワークが求められます。毎月てんかん診療に関わる多職種のスタッフが集まり、症例検討会を実施していま

として地域で包括的な医療を提供できるように取り組んでいます。

### 患者さんへのメッセージ

当センターは、全国から患者さんをご紹介いただいています。受診ご希望の方は、主治医に紹介状を作成してもらい、当センターの地域医療連携室を通じて予約を取っていただくことをお勧めします。長崎空港や長崎自動車道からのアクセスも良く、遠方からの患者さんも多く来院されます。病院最上階から臨む穏やかな大村湾のように、患者さんの発作を鎮めることを目標として日々診療に携わっています。（脳神経外科 戸田 啓介）

